

■施策評価シート 9-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	切れ目のない子育て支援	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-①	施策名	子育て総合相談窓口の充実

施策の概要

妊娠届を受理する際に、すべての妊婦に対して利用計画を作成するとともに、特に支援を必要とするケースにおいては個別の支援プランを作成することで、早期からの支援につなげます。また、子育て相談センターに専門職を配置することにより、妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない相談支援をワンストップで行う中で、虐待につながる恐れのあるケースについては、関係機関等と早期から連携を深め、見守りや早期介入を図り、虐待防止に努めます。

成果指標(単位)	子育てしやすいと思う市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	87.6	87.7	87.8	88.0
実績値	87.5	88.7	87.7	85.8	

成果指標実績に対するコメント

令和5年度は令和4年度実績から1.9ポイント減少したが、85%を超える数値であった。身近な相談先として、保健師・助産師・保育士を配置し、来所・電話・メール・オンラインにて随時相談、また母子健康手帳交付時に全妊婦に対し相談を実施し、妊娠期から子育て期における必要な情報提供や不安の軽減を図ることができた。

施策の達成度評価

相談内容に応じて各職種が専門性を活かした相談を実施し、保護者の不安を軽減した。継続支援が必要な場合は、個別支援計画を立て、養育支援会議で報告し関係機関との連携を図り、定期的に支援内容の評価も行い、切れ目のない支援を実施した。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

母子健康手帳交付時の全件相談を起点に子育て期までの切れ目のない相談支援・情報提供を実施し、保護者の不安の軽減を図る。また継続支援が必要なケースには、個別支援計画で支援の方向性の検討と評価を実施して支援の質の向上を図り、養育支援会議にて関係機関との連携を強化する。加えて、伴走型相談支援として妊娠6～7か月の妊婦に送付するアンケートをもとに、妊婦の不安軽減と継続支援が必要なケースの把握に努める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
総合相談事業(民生費)	子育て相談センター	○	母子健康手帳交付時や随時の相談を実施し、情報提供や不安の軽減を図り、また、継続支援が必要な場合は、関係機関と情報共有や連携を図り、必要な支援につなげることができたため。
総合相談事業(衛生費)	子育て相談センター	○	

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	切れ目のない子育て支援	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-②	施策名	母子保健サービスの充実

施策の概要

子どもの健全な育成や健康増進を図るとともに、病気等の予防・早期発見・早期対応、子育てに関する課題の有無等の早期発見・早期対応に努めるため、妊娠・出産・子育てを通して切れ目のない母子保健サービスを提供します。

成果指標(単位)	すこやか訪問の利用率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	98.0	98.0	98.0	98.0
実績値	91.4	95.4	95.2	98.3	

成果指標実績に対するコメント

令和5年度実績値は、令和4年度実績値から3.1ポイント増加し、目標値に到達することができた。訪問以外にも、産前産後サポート事業として、産後1か月ごろまでの産婦に電話相談を実施しており、すこやか訪問よりも早い時期での子育てへの支援も充実させている。また、より支援が必要なケースに関しては、担当の保健師が関係機関と連携しながら時期を調整して訪問や電話等で切れ目のない支援を継続的に実施している。

施策の達成度評価

助産師や保健師によるすこやか訪問では、児や保護者の健康状態の確認、子育ての相談、養育状況の確認等を行い、子育て支援を行った。すこやか訪問を希望されない方や、長期入院の方には、産後電話で母の様子や支援者の情報を聞き取ったり、医療機関と連携しながら必要な支援を行った。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

子育て相談センターにおいて、妊娠期からの切れ目のない相談支援・情報提供等を実施し、産後電話相談事業や産後ケア事業等と併せて子育て支援の充実に努め、安心して子育てできるまちづくりを行う。伴走型相談支援により、以前は訪問を希望されない方へも訪問の受け入れがしやすくなっており、今後更なる継続支援が期待できる。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
乳幼児健診事業	子育て相談センター	○	疾病の予防、早期発見、早期治療に繋げるとともに、保護者の不安や困りごとに寄り添い、相談や必要に応じ継続支援を実施することができたため。
新生児訪問事業(すこやか訪問事業)	子育て相談センター	○	実績値が目標値に到達し、伴走型相談支援により、訪問等の受け入れがしやすくなり継続的に支援を行うことができたため。
妊娠・出産包括支援事業	子育て相談センター	○	産前産後サポート事業に加え、産婦健診の導入により産後の母児の相談支援が充実し、早期に支援が必要な人には、すこやか訪問や産後ケア事業等の利用を通じて、支援につなげられたため。

■施策評価シート 9-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
未熟児養育医療事業	子育て相談センター
妊婦健診事業	子育て相談センター
不妊・不育治療費助成事業	子育て相談センター
母子健康教室開催事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-01-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	切れ目のない子育て支援	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-③	施策名	子ども・子育て支援、ネットワークの充実

施策の概要

JR草津駅と南草津駅前の子育て支援拠点施設を中心とした市内子育て支援施設を通じて、子育て支援に係る様々な情報や、交流の場を提供するとともに、これを支える関係団体等のネットワークを強化します。

成果指標(単位)	子育て支援施設の利用者数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	98,602	97,565	97,121	96,920
実績値	48,569	72,423	89,252	107,267	

成果指標実績に対するコメント

子育て支援施設の利用者数について、新型コロナウイルス感染症の影響があり令和3年度から令和5年度4月までは利用制限を行い、実績数は目標値に達していなかったが、令和5年度5月以降は利用制限を解き、また、ホームページや専用サイトで情報発信やイベントの充実を図った結果、令和5年度の実績値は目標値を上回り、増加した。

施策の達成度評価

令和3年5月に草津駅前に草津市立北部子育て支援拠点施設(ココクルひろば)をオープンしたことで、草津市立南部子育て支援拠点施設(ミナクサひろば)と合わせて、市内の子育て支援の拠点となる2施設を整備することができた。また、令和4年度より、笠縫東児童センターについて、児童館事業と地域子育て支援拠点事業として位置づけを変更したことにより、各子育て支援施設間での調整が高まり、より充実した支援サービスを提供することができている。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

令和3年の草津市立北部子育て支援拠点施設(ココクルひろば)のオープンにより、子育て支援施設を各中学校区に1施設とすることができた。今後も、各施設において、子育て相談や親子の交流など、子育て支援の場としての機能を充実させるとともに、施設に関する積極的な情報発信や地域資源の開発・連携を行い、より利用しやすい施設となるよう取組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
草津っ子サポート事業	子ども家庭・若者課	○	生後1歳未満の子を持つ子育て世帯の希望者に対し、家事・育児を担うヘルパー派遣を行い、子育て支援を行うことができたため。
育児等支援家庭訪問事業(すこやか訪問事業)	子育て相談センター	○	対象となる家庭に対して保育士が訪問や電話等で親子の状況を把握し、子育てに関する情報提供および養育環境の確認を行い不安の軽減が図れたため。
つどいの広場事業	子育て相談センター	○	利用者数は前年度より増加し、親子が気軽に相談や交流ができる場を提供することができたため。
子育て支援センター運営事業	子育て相談センター	○	利用者数は前年度より増加し、親子が気軽に相談や交流ができる場を提供することができたため。
子育て支援拠点施設運営事業	子育て相談センター	○	利用者数は前年度より増加し、子育てをしている親子の交流等の支援を通じて、子育ての不安を解消し、子どもの健やかな育ちを促進することができたため。

■施策評価シート 9-01-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
結婚新生活支援事業	子ども・若者政策課
子育て支援会議運営事業	子ども・若者政策課
多胎児養育支援ヘルパー派遣事業	子ども家庭・若者課
児童福祉援護事務	子ども家庭・若者課
子育て支援事業	子育て相談センター
児童館運営事業	子育て相談センター
養育支援訪問事業	子育て相談センター
出産・子育て応援事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業

■施策評価シート 9-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	就学前教育・保育の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	4 5 8 10 17
施策番号	9-02-①	施策名	質の高い就学前教育・保育の提供

施策の概要

子どもの豊かな育ちや学びを支えるため、教育・保育内容の充実に努めます。また、長期的な視点に立ち、乳幼児期に培われた力や学びの芽生えが小学校以降の学びにつながるよう、連続性・一貫性をもった取組を進めます。また、教育・保育を担う優秀な人材の積極的な確保や育成に努めます。

成果指標(単位)	「就学前教育・保育の充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	31.0	32.0	33.0	34.0
実績値	29.5	24.4	19.1	25.6	

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、目標値を達成することができなかったものの、6.5ポイント増加することができた。これまでの取組として、認可外保育施設等を利用される無償化対象者への経済的支援等を行うとともに、子育て支援施策として「草津市子育て6つの楽だ」を新たに実施し、全ての保育施設等へ紙おむつを無償で配布するなどの取組を行ったことが、一定の市民の評価につながったものと考えます。

施策の達成度評価

保育士トライアル研修の実施や就職フェアへの参加に加え、新たに保育士等奨学金返還支援事業や保育士等就職定着応援支援金を実施し、保育人材の確保に取り組んだ。草津市で働く保育士を増やすため、より多くの方が制度を活用できるよう、今後も積極的な広報周知を図っていく必要があると考える。
また、質の高い教育・保育を提供するため、保育士等を対象とした研修を実施し、公私立の就学前教育施設の人材育成を図った。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

質の高い教育・保育の提供を目指し、教育・保育を担う人材の安定的な確保・定着・育成に向けて、既存の保育士確保策に係る広報周知の強化を図るとともに、質の高い、教育・保育を提供するため、引き続き保育士等を対象とした研修を実施する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
施設等利用給付事業(民生費)	幼児課	○	満3歳以上の認可外保育施設や私立幼稚園等の無償化対象者への施設等利用者の給付を円滑に行い、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図ることができたため。
施設等利用給付事業(教育費)	幼児課	○	
就学前教育サポート事業(民生費)	幼児課	○	保育者への心理・保育分野からの専門的な支援を行った結果、保育者の子どもや保護者対応等に関するスキルアップが図れたため。
就学前教育サポート事業(教育費)	幼児課	○	
幼稚園・認定こども園ステップアップ推進事業	幼児課	○	地域の特色や人材を活かして各施設の教育内容の充実に図ることができたため。
保育士等確保対策事業(民生費)	幼児課	○	保育士等の大半が年度末まで勤務を継続され、保育士等の安定確保につながったため。
保育士等確保対策事業(教育費)	幼児課	○	

■施策評価シート 9-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
病児・病後児保育運営事業	子ども・若者政策課
保育所・認定こども園管理運営事業	子ども・若者政策課
家庭支援活動事業	幼児課
家庭的保育事業	幼児課
保育所・認定こども園指導研修事業	幼児課
保育所・認定こども園運営支援事業	幼児課
幼保一体化推進事業	幼児課
認定こども園運営支援事業	幼児課
幼稚園・認定こども園指導研修事業	幼児課
幼稚園・認定こども園保健推進事業	幼児課
私立幼稚園運営推進事業	幼児課
小規模保育事業	幼児課
認定こども園給食事業	幼児課
保育所・認定こども園給食事業	幼児課
保育所・認定こども園健康管理事業	幼児課
保育所・認定こども園管理運営事業	幼児課
民間認定こども園運営事業	幼児課
民間保育所・認定こども園運営事業	幼児課
預かり保育事業	幼児課
認定こども園管理運営事業	幼児課
利用者負担額管理回収事業	幼児課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業

■施策評価シート 9-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	就学前教育・保育の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	9-02-②	施策名	就学前教育・保育施設の定員確保

施策の概要

安全・安心な保育環境を確保するとともに、質の高い就学前教育・保育を実現するために認定こども園等の環境整備や定員確保に取り組めます。

成果指標(単位)	保育所等の利用定員(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	4,702	4,724	4,724	4,724
実績値	4,202	4,723	4,736	4,699	

成果指標実績に対するコメント

私立認定こども園2施設および小規模保育施設1施設において、恒常的に利用人員が少ない状況であったため、利用状況を反映し利用定員の設定を見直したことなどから、実績値が目標値に対して25人下回ったが、第二期草津市子ども・子育て支援事業計画における量の見込み(4,503人)を上回る定員確保が図れた。

施策の達成度評価

「子ども・子育て支援新制度」では、支援の量の拡充を求めており、本市では、これまで保育需要の増加に対応するため、草津市子ども・子育て支援事業計画に基づき、施設整備による定員増を図ってきた。
一方で、待機児童の解消には保育士等の安定的な確保が必須であることから、新たに登園時の繁忙な時間帯など一部の時間帯にスポット的に従事する保育支援者の配置を支援するなど、働きやすい職場環境の充実に図り、保育士確保事業の取組を進めることができた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

令和6年度に策定予定の(仮称)草津市こども計画により設定する確保方策に基づき、保育定員の確保を図る。
併せて、待機児童の解消に向けて、保育の担い手である保育士の確保が喫緊の課題であることから、引き続き保育士確保事業の取組を実施する。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
家庭的保育事業	幼児施設課	○	家庭的保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、保育体制の強化に対する支援を行うことにより、低年齢児の保育環境の充実に図ることができたため。
小規模保育事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、小規模保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、新型コロナウイルス等の感染症対策および食材料費高騰対策への支援を行うことで、低年齢児の保育環境の充実に図ることができたため。
保育所・認定こども園管理運営事業	幼児施設課	○	公立保育所および公立幼保連携型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。

■施策評価シート 9-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民間保育所・認定こども園運営事業	幼児施設課	○	私立認可保育所・私立幼保連携型認定こども園などに対して、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間保育所・認定こども園運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立認可保育所・私立幼保連携型認定こども園などに対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、新型コロナウイルス等の感染症対策および食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
幼稚園型認定こども園管理運営事業	幼児施設課	○	公立幼稚園型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
保育所・認定こども園運営支援事業	幼児施設課
幼稚園型認定こども園運営支援事業	幼児施設課
民間幼稚園・認定こども園運営事業	幼児施設課
他自治体広域入所運営事業(民生費)	幼児施設課
他自治体広域入所運営事業(教育費)	幼児施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-03-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	安心して子育てができる環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-03-①	施策名	児童虐待の防止と早期発見・早期対応

施策の概要

児童虐待の防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、子どもとその家族の安心できる生活のための支援として、必要な相談体制の充実や関係機関等の連携を強めます。

成果指標(単位)	児童虐待相談対応件数(件)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	1,249	1,349	1,449	1,549
実績値	1,396	1,420	1,190	1,271	

成果指標実績に対するコメント

令和5年度の児童虐待相談対応件数は1,271件で、前年度に比べ81件増加したが目標値を下回る数値となった。また、全体の約6割が継続対応ケースであり、児童・保護者・養育環境の問題が輻輳し、対応や支援が長期化する傾向にある。

施策の達成度評価

オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンを中心に、広報紙など様々な媒体を通じて虐待防止啓発を行った。児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関が共通認識を持ち、対策・支援策を講じる必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

要保護児童対策地域協議会を軸に、情報共有や役割分担などを行い、各関係機関がさらに連携を深め、児童虐待防止に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
養育支援ヘルパー派遣事業	家庭児童相談室	○	支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行うことで、子育ての負担軽減を図り、良好な育児環境を整えたため。
家庭児童相談指導事業	家庭児童相談室	○	保健師、社会福祉士の配置により、相談業務の体制強化を図っているため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て短期支援事業	家庭児童相談室

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-03-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	安心して子育てができる環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-03-②	施策名	ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実

施策の概要

ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制、経済的支援や日常生活の支援等の充実を図ります。また、子どもが生まれ育った環境に左右されることなく、将来の夢や目標の実現に向かっていけるよう、子どもの貧困対策や子どもの居場所づくりを進めます。

成果指標(単位)	高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	

成果指標実績に対するコメント

高等職業訓練促進給付制度利用により資格を取得した者は2名であり、取得した資格を十分に活かした就労につながった。

施策の達成度評価

ひとり親家庭等の相談に応じながら、日常生活の支援や経済的支援、就職に有利な技能の習得や資格取得等のための各種給付金の活用により、ひとり親家庭の自立と安定を図ることができた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

支援制度の情報発信を積極的に行い、ひとり親家庭等の相談対応や、関係機関と連携しながら自立や生活の安定に向けた支援をする。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童扶養手当給付事業	子ども家庭・若者課	○	受給資格を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
母子生活支援施設入所事業	子ども家庭・若者課	○	DV等の理由により母子の保護を行い、自立に向けた支援を行うことができたため。
ひとり親家庭等支援事業	子ども家庭・若者課	○	母子・父子自立支援員を2名配置し、ひとり親家庭の相談対応や、各種支援制度の利用を勧め、ひとり親家庭の生活の安定を図ることができたため。
ひとり親家庭等就業支援事業	子ども家庭・若者課	○	ひとり親家庭の自立のため、就労に有利な技能の習得および資格取得等の支援を行うことができたため。
母子家庭福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策評価シート 9-03-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
助産施設入所事業	子ども家庭・若者課
母子等福祉活動費補助金事業	子ども家庭・若者課
母子福祉資金等貸付事業	子ども家庭・若者課
父子家庭福祉医療助成事業	保険年金課
母子家庭等福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

■施策評価シート 9-03-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	安心して子育てができる環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-03-③	施策名	発達障害児等への支援の充実

施策の概要

発達障害等がある等、支援が必要な子どもとその家庭に寄り添い、早期に専門的な療育につなぐとともに、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な関係機関と連携しながら、個々のニーズに対応できる専門的かつ総合的な相談支援を進めます。

成果指標(単位)	相談支援実人数(人)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	1,333	1,346	1,359	1,373
実績値	1,353	1,199	1,378	1,346	

成果指標実績に対するコメント

発達に支援が必要な方に対する相談支援実人数は概ね目標値に近い人数であった。乳幼児期から成人期のライフステージを通して個々の支援ニーズに対応するため専門職を配置し、関係機関と連携しながら相談支援を行ったためと考える。

施策の達成度評価

早期からの療育や保護者支援に取り組むとともに、学齢期の発達心理相談員(会計年度任用職員)を配置し、心理検査や相談業務の体制を強化することができた。改正児童福祉法が令和6年度に施行されたことを踏まえ、発達支援センターが児童発達支援センターとして地域の障害児支援の中核的役割を担うことができるよう機能強化に取り組む必要がある。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

早期からの専門的な療育の充実を図るとともに、地域の保育所や児童発達支援事業所等への支援に取り組み、児童発達支援センターの機能強化を進める。また、多様な支援のニーズに対応するため、関係機関と連携しながら相談支援に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
発達支援センター運営事業	発達支援センター	○	専門職を配置して相談支援体制を強化し、令和5年度からペアレント・トレーニングを実施した結果、多様な支援のニーズに応じることができたため。
湖の子園運営事業	発達支援センター	○	湖の子園において、早期療育の充実やきめ細やかな保護者支援を行うとともに、就学前施設の加配対象児の保護者に対して研修や交流の場を設けた結果、子どもの発達支援や保護者支援の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特別支援教育推進事業	幼児課
障害児通所給付事業	発達支援センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業

■施策評価シート 9-03-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	安心して子育てができる環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-03-④	施策名	児童育成クラブの充実

施策の概要

子どもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所の確保のため、多様な保育ニーズに対応できる児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。

成果指標(単位)	児童育成クラブ入会率(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	100.0	100.0	100.0	100.0
実績値	99.9	100.0	99.8	99.8	

成果指標実績に対するコメント

市全域では入会申込数以上の定員を確保したものの、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会申し込みがあったため、入会率が100%に届かなかった。

施策の達成度評価

待機児童解消のため、民設児童育成クラブの開設による定員増や、各児童育成クラブにおける受け入れにかかる弾力運用を図ったが、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会希望があったため、入会率が目標に達しなかった。また、多様な保育ニーズに対応できる保育の質の維持・向上については、支援員等研修会を開催し、支援員等の専門性の向上を図った。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

市域全体の小学生人口はピークを迎える見込みであるが、開発等による影響や多様化する保育ニーズにより、今後も児童育成クラブへの入会希望者数が増加する可能性があるため、引き続き保育ニーズを注視しながら、待機児童の解消に向けた取組を行っていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童育成クラブ運営事業	子ども・若者政策課	○	待機児童の解消に向けた取組を実施するとともに、支援員等への研修を行うことにより、安全・安心なクラブ運営に努めた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-03-⑤

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	安心して子育てができる環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-03-⑤	施策名	子育てに伴う経済的負担の軽減

施策の概要

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、児童手当の支給や乳幼児・小中学生の医療費助成等を行います。

成果指標(単位)	子育てしやすいと思う市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	87.6	87.7	87.8	88.0
実績値	87.5	88.7	87.7	85.8	

成果指標実績に対するコメント

子育てをしやすいと思う市民の割合は、令和4年度から令和5年度の割合は、1.9ポイント低くなっているものの、令和6年度の目標値と比較して令和5年度時点での達成率は、97.5%であり高い状態を維持している。
これは、これまで取り組んだ様々な施策の成果から、安心して子育てができる環境の実現が一定図れたと考えられるが、現在の施策のさらなる推進を図る必要があると考える。

施策の達成度評価

子育て家庭への児童手当の支給や乳幼児・小中学生・高校生の医療費助成等を適切に行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

子育て家庭への経済的負担軽減のため、引き続き適切な助成や手当の給付を進める。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童手当および特例給付事業	子ども家庭・若者課	○	受給資格・対象を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
乳幼児福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
小中学生医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特別児童扶養手当給付事務	子ども家庭・若者課
児童手当給付事務	子ども家庭・若者課
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	子ども家庭・若者課
子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	子ども家庭・若者課
子育て世帯への生活応援商品券給付事業	子ども家庭・若者課
小中学生医療事務	保険年金課
乳幼児福祉医療事務	保険年金課
高校生等医療事務	保険年金課
高校生等医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-04-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	子ども・若者の育成支援	基本方針に関連するSDGsの目標	4 8 10 17
施策番号	9-04-①	施策名	子ども・若者が社会生活を円滑に営むための支援の推進

施策の概要

社会生活を円滑に営むことが困難な子ども・若者について、教育や福祉、雇用、コミュニティなどの様々な分野の関係機関や地域、団体が連携した支援を行うとともに、社会全体の理解を促進します。また、地域や団体と連携し、地域行事や体験活動、社会活動への参加を通じて、地域における子ども・若者の居場所の充実を進めます。

成果指標(単位)	「子ども・若者の育成支援」に満足している市民の割合(%)				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	17.7	18.4	19.1	19.8
実績値	17.0	16.0	12.7	16.6	

成果指標実績に対するコメント

新たに子ども・若者の育成支援として、様々な悩みを抱える、高校生、若者世代に対して居場所の提供や子ども・若者ケアラーを対象とした事業、また、昨年度に引き続き、子ども・若者への丁寧な相談支援に取り組んだ結果、前年度に比べて実績値が3.9ポイント増加した。しかし、目標値については、未達成であるためさらなる支援の充実が必要である。

施策の達成度評価

居場所の提供や子ども・若者ケアラーを対象とした事業を実施し、様々な悩みを抱える子どもや若者の生活や心の安定を図る手助けをすることができた。また、子ども・若者支援協議会等の情報交換、研修会を通じて、地域、学校、関係機関との連携強化が図れた。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

子ども・若者の育成支援を推進するため、引き続き、子どもや若者の生活や心の安定が図れるよう支援を行うとともに、地域や様々な分野の関係機関との連携強化に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
子ども・若者育成支援推進事業	子ども家庭・若者課	○	様々な悩みを抱える子ども・若者に対して丁寧に相談支援を行うとともに、子ども・若者支援協議会等を通じて、子ども・若者施策について研修会等を実施し、関係機関との連携強化が図れたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策評価シート 9-04-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	子ども・子育て・若者
基本方針	子ども・若者の育成支援	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-04-②	施策名	青少年健全育成の推進

施策の概要

青少年の健やかな成長を阻害する環境から青少年を守るとともに、青少年の自らがもつ力を発揮しながら、たくましく生きることができる環境整備を図るため、地域・学校・関係機関が連携し、啓発活動や青少年への教育活動を進めます。また、相談業務や支援プログラムを実施し、非行からの立ち直りを支援します。

成果指標(単位)	草津市青少年育成大会の内容について「とても良かった」「よかった」を回答とした割合				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値	(※基準値)	85.0	86.0	87.0	88.0
実績値	83.3	88.6	86.5	83.7	

成果指標実績に対するコメント

前年度に比べて、2.8ポイント減少し、目標値を達成できなかったが、肯定的な回答が高い水準で維持できている。今後も大会を魅力あるものにするため、大会構成や内容等を工夫しながら開催していく必要がある。

施策の達成度評価

地域、学校、関係機関等が引き続き連携し、青少年の健全育成活動を行うとともに、相談支援等を通して様々な悩みを持つ青少年の心のケアを行い、社会で円滑に生活できるように支援していく。

評価に基づいた令和7年度の取組についての考え方

地域、学校、関係機関等が引き続き連携し青少年の健全育成活動を行うとともに、相談支援等を通して様々な悩みを持つ青少年の心のケアを行い、社会で円滑に生活できるように支援していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
青少年育成活動事業	子ども家庭・若者課	○	青少年の主張発表大会、青少年育成大会を草津市青少年市民会議と共同して開催し、青少年の健全育成について推進できたため。
少年センター管理運営事業	子ども家庭・若者課	○	少年やその家族等からの相談に応じるとともに、少年補導委員や警察、学校等と協力しながら街頭補導活動を通じて青少年の健全育成を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
20歳のつどい開催事業	生涯学習課
青年国際交流事業	生涯学習課
青少年対策推進事業	子ども家庭・若者課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。